

第20回、第21回防災アカデミーを開催

●災害対策室

第20回防災アカデミーが、6月19日（月）、環境総合館レクチャーホールにおいて、開催されました。

今回は、産業技術総合研究所（旧通産省地質調査所）関西産学官連携センターの寒川 旭博士による「遺跡が語る地震の歴史～地震考古学への招待～」と題する講演が行われました。寒川博士は、遺跡に残る災害の痕跡を考古学的



オリジナルイラストを使った講演の様子（第20回防災アカデミー）

な発掘調査から見つける「地震考古学」の創始者であり、講演では、オリジナルのイラストなどを交え、歴史上の著名な人物と地震についての意外な関係など、これまでの調査からわかった幅広い知見が披露されました。参加者は、新しい学問を楽しく学ぶことができました。

7月4日（火）には、第21回防災アカデミーが開催され、坪木和久地球水循環研究センター助教授による「竜巻と台風の話～地上におけるもっとも激しい気象をいかにコンピューターで再現するか～」という講演が行われました。1999年に豊橋で発生した竜巻や2004年に全国的に大きな被害をもたらした台風23号といった顕著な気象災害をいかにしてスーパーコンピューターの中で再現するか、そしてその再現性はどれくらいのものであるかといった話題が取り上げられ、参加者は、最新の科学研究の魅力を垣間見ることができました。

防災アカデミーでは、火山、地震など様々な自然災害を幅広い視点から学ぶ企画を9月以降も準備しております。

詳しくは、災害対策室ホームページ（<http://anshin.seis.nagoya-u.ac.jp/taisaku/>）をご確認ください。

多文化交流「スモールワールド・コーヒーアワー」を開催

●留学生相談室

留学生相談室は、6月28日（水）、留学生センターと共催で、留学生センターラウンジにおいて、「世界の夏」をテーマにスモールワールド・コーヒーアワーを開催しました。

この催しは、留学生、日本人学生、教職員などが文化交流を体験し、互いに理解を深める場を提供することを目的に、同相談室が主体となって昨年の後期から行っている国際交流プログラムで、今回は、約45名の参加があり、学生スタッフが企画したジェスチャーゲームを通して、各国の夏について学びました。日本の夏のイメージとしてスイカ

割り、中国の夏として川遊びなどが紹介され、参加者は、大変盛り上がりました。参加したある学生スタッフは、「自分の国で経験したことのないこととことん味わえる。それに他の国の人と話して頭の中で世界旅行ができていような感じがする！」と感想を話していました。

今学期からは、留学生、日本人学生、外国人研究者などからなるコーヒーアワー・スタッフチームが結成され、今後も学生スタッフと留学生相談室が協力しながら、プログラムの企画を進めていく予定です。

詳しくは、留学生相談室ホームページ（<http://www.isa.provost.nagoya-u.ac.jp>）をご覧ください。



プログラムを支えているコーヒーアワー・スタッフチーム



ジェスチャーゲームの様子